

エキサイターとセンサ技術で ”音“ による情報・コミュニケーションを確立する「あおごち」

株式投資型クラウドファンディングを開始

～装着するだけでヘルメットがスピーカーになる「addSound（アドサウンド）」を世界へ～



エキサイター（接触面を振動させて音を出すシステム）を用いたセンサ技術を開発する株式会社あおごち（千葉県松戸市 代表取締役：山田 斉）は、株式投資型クラウドファンディングサービス「FUNDINNO（ファンディーノ）」において、2019 年 11 月 4 日（月）より募集による投資申込みの受付を開始することをお知らせします。

【当社プロジェクトページ】

<https://fundinno.com/projects/97>

当社プロジェクトとクラウドファンディング実施目的について

ユーザーの行動に合わせ、自動で情報・コミュニケーションを提供するスピーカーを

株式会社あおごちは、エキサイターを使った音情報を利用シーンに合わせて効果的に提供するためのセンサ技術「addSound」の開発に成功しています。この度、addSound のオリジナルアプリを通したサービスを拡張し、世界に通用する商品開発を行うため、2019 年 10 月 25 日より株式投資型クラウドファンディング FUNDINNO において、募集案内の事前開示を開始いたします。弊社は今回の資金調達により資本力の充実に図り、事業の成長に繋がります。募集期間は 2019 年 11 月 4 日～2019 年 11 月 6 日、上限とする募集額は 35,000,000 円（1 口 10 万、1 人 5 口まで）です。



「addSound」のコア技術は、オートバイ用品の市場以外にも応用が可能です。具体的には、現場作業時の連絡ツールとしてや店舗内オーディオシステムなど、作業用からレジャー用まで幅広い活用方法が見出せます。

addSound BtoBのビジネス展開



現場作業用 コミュニケーションシステム

既存のヘルメットに製品を貼り付け、手が離せない現場作業におけるコミュニケーションを実現できる。



店舗向け オーディオシステム

天井や壁などに張り付けることで、店舗のインテリアを侵食することなく、全方位的な自然な音響を実現できる。



案内板向け 誘客・ナビゲーションツール

案内板や飲食店に置くメニュー板に、当システムを張り付けることで、音声案内など、店への誘導を効果的に行える。

addSound BtoC のビジネス展開



自転車向け市場への展開

外の音が聴こえるため、安全に音楽を楽しむことができる。
貼り付けるだけなので、既存のヘルメットをそのまま活用可能。



マリンスポーツ向け市場への展開

ジェットスキーや小型船舶のボディはFRP製のため、エキサイター技術でとても大きく音を鳴らすことができる。
所有する船舶にそのまま貼り付けて使うことができる。

■会社概要

- ・会社名：株式会社 あおごち
- ・所在地：千葉県松戸市小山 138-25
- ・代表：山田 斉
- ・設立：2017年1月
- ・事業内容：
 - ・レーザー加工商品の企画、開発、製造及び販売
 - ・レーザー加工受託サービス
 - ・通信・電子・音響機器システムの企画、開発、製造、販売及び受託
 - ・制御機器システムの企画、開発、製造、販売及び受託
 - ・インターネット通信販売
- ・URL：<https://www.aogochi.jp>

本プレスリリースに関する報道関係の皆様からのお問合せ先

株式会社 あおごち

広報：山田 斉

tel：050-3691-8421(まずは下記メールにてお問い合わせください)

E-mail：info@aogochi.jp